

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 米国関係
（議員等発言(2)（講演、記者会見等）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43840

オハラ、コヒ、ラン下院議員内話(昭四四・三・二八)

ソカヒ 万等

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

大 政事外外官
 務務
 次次
 官官審審
 価価文会管管
 総人監厚計
 参閣折
 参領派移

電信写

総番号(TA) 8306
 69年02月28日21時30分 発信
 69年03月01日12時05分 本省 着

外務大臣殿 下田(大) 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題等米議会人内話

第57/号 極秘 至急

第2回日米議員こん談会出席の米議員が28日キウチに内話するところ次のとおり。

1. ジェイムス・オハラ下院議員(民主、ミシガン)

(1) 訪日は3回目だが貴重な経験であつた。日本にオキナワ返かんの強い要請があることはよくわかつた。前回訪日したときはオガサワラ返かんが最大の話題であつたが、今回はその問題は存在しなかつたかの如くであり若干異に感じた。今回は「オキナワ」=しよくで、オキナワを返かんすれば新たな要求が次から次々として出てくるものと思ふ。また、自分の接した米民はオキナワよりも往たく、物価、学えん紛争により関心をもつていていると思つた。

(2) しかし、戦後23年をも経過した今日、自分はオキナワ返かんについてなんらかの措置が執らるべきで、早急に日米両国は交渉に入るべきものと考え、基地の態様は複雑である。日本側感覚からすれば核アレルギー、非核三原則の観点から「核ぬき」ということであるが、米側感覚からすればオーバー・コミットメント、駐留過多に對

参北京經
 中頭經
 参北北保
 参一二
 参西東洋
 西東
 参審近ア
 参總經國
 参政按二
 國一種
 参務助經
 参政經科
 軍社專
 参道内外
 一三

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

する反省、経費節減という観点が先きに立つ。すなわち、SEATO、CENTO等不急、不要のものあらば整理すべきであり、同様に在日米軍、オキナワ駐留の軍及び施設を整理して米軍のプレゼンスを縮小させた方がよいと思つている。

(3) 日本その他の対米輸出国に対して自主規制を求めんとしている米国内のせん維業界に対して自分なんらの同情も感じない。鉄鋼業界の場合にはまだゆるせるがそれでもそれほど同情に値しないと思つている。しかしながら日本側が自由化にぎやく行する動きをとつていることも了解にくるしむ。初めて訪日したころは、日本産業が弱体であるとの説明を納得したが、今日では日本が有数の大国になつたことは動かし難い事実であり、最早これまでの取りつくるつたような対米方針では米國としても納得し難いこととなる。(注: オキナワと日米通商の問題は無関係であり、これを絡ませるべきでないが、オキナワで善処すべきことを主しようする進歩的米議会人が日本の自由化のかべにほう着する結果となるのは好しくないとの口ふんであつた。)

(4) 今後オキナワ問題を解決するに當つて米國議会の動向は無視できないこととなるが、今日のところ米國議会は小数の者を除き、オキナワ問題を承知している者はかゝ無に近く、大國日本のことすら知らない者が多く、日米

(2)

極秘

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

友好関係増進の見地から米議会としても反省すべきである。
 a. 日米議員こん談会も自分の如き訪日経験者を派遣せず、
 無経験の議員を訪日させるべきである。

他方、日本側の実情をみるに、向米一べん側に非ざれば極
 たんな反米にはしるかのいずれかであり、中間に、米國と
 一線を画して米國に真面目にR E A C Tする層があつた方
 が日米関係はじょうぶで長持ちするのではないかとの印象
 を得ている。

② ジェフリー・コヒーラン下院議員（民主、加州）

オキナワ返かんの必要性については今次日米議員こん談会
 出席者のおおむね一ちして感じたところと思う。オキナワ
 には核は軍人的感覚からすればあつてもよいのであろうが
 。自分は核づきの必要はないと思つている。核ぬきの「自
 由使用」が認められた方が安全ではなからうか。基地の態
 様については正直のところ、あまり確信はないが、オキナ
 ワ、本土共に駐留米軍が多すぎて種々まさつ発生の要因と
 なつており、不要不急なものは整理、引あげさせるべきで
 ある。

オキナワと共に日米関係で重要なのはいうまでもなく通商
 関係であり、今後とも成長し続ける日本が自由化にふんぎ
 りがつかず、ぎやく行していることは保護主義者に名をな
 さしめるだけで不得策とみている。他方、米國としてはア
 ジアで頼りになるのは日本だけとの見地から認識を新たに

(3)

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

すべきである。東南アジアのほう國に至つてはだらしがな
 いとの一語につきるものがある。

(3)

(4)